

創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 大神田佳明

学校だより 第7号

令和元年11月7日



とらのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>



ラグビー・ワールドカップで見られた多様性と主体性

校長 大神田 佳明

11月に入り、朝晩の冷え込みで中庭の樺も色づき始めました。10月29日に開催しました合唱コンクールには、530名以上の来賓の皆様、保護者・地域の皆様にご来場いただきありがとうございました。合唱コンクールを通して成長した生徒の姿や感動のある合唱をお聴きいただけたと思います。

さて、9月にアジアで初めて開催されたラグビー・ワールドカップは、人種の壁を乗り越えワンチームで戦った南アフリカの優勝で幕を閉じました。毎週末は、ラグビーの試合に日本中のファンが熱狂しました。日本代表は、悲願の史上初のベスト8という快挙を成し遂げました。会場は、東京や横浜の他に、東日本大震災の津波で全壊した岩手県釜石市の中学校の跡地に建てられた競技場でも開催されました。世界の人たちが集まり、被災地の復興への思いを共有しました。また、台風19号の影響で試合が中止になったカナダ代表選手が、釜石市でボランティア活動に参加し、地元の人と一緒に土砂や泥を片付けたりするなど、ラグビーを通して国際交流ができた素晴らしい大会になりました。

今回の大会で注目したことは、ラグビーの多様性です。日本代表出場選手31人中、海外出身選手は15人です。選手は、①その国の生まれ ②両親・祖父母の一人がその国の生まれ ③3年以上継続してその国に居住している、の3要件のどれかを満たせば資格を得られるというラグビー特有のルールです。今回の日本チームには、ニュージーランド、南アフリカ、トンガ、韓国、オーストラリア、サモア等の国籍の選手が登録されていました。ニュージーランド出身のリーチマイケル主将は、高校・大学を日本で過ごしました。ラグビー以外でも日本の文化に親しみ、自分を育ててくれたのは日本の部活動だと、感謝と日本への恩返しのできる気持ちで日本代表を選びました。「このチームの良さは多様性です。日本人も外国人も一緒に戦って結果を出したい。」とリーチマイケル主将が語っていました。生まれや育ち、文化の違いなど異なる背景をもつ選手が集まり、互いに尊重し合い、力を合わせてトライという目標に向かい戦うラグビーというスポーツは、今後多様化する日本の社会を生きていく子どもたちの将来を先取りした大会だったと思います。

また、ラグビーでは監督（ヘッドコーチ）は試合が始まると、ピッチで直接指示することができず、観客席から見守り主将や選手にゲームを託します。オールブラックスでプレーしたジェイミー・ジョセフヘッドコーチは、選手が自主性、主体性を発揮できるチームづくりをしました。選手たちは、リーチマイケル主将を中心に信頼関係を築き、相手の状況を見て柔軟に作戦を立てるなど、主体的に意思決定し、選手が自分の役割を果たし「ワンチーム」として最高のプレーをしました。

前半・後半の80分の試合が終わるとホイッスルが鳴り「ノーサイド」です。ノーサイドは、試合が終われば敵も味方もなく互いを尊重するラグビー伝統の精神です。予選の最終戦で日本代表と全力で戦い敗れたスコットランドの選手たちが、花道をつくって日本の選手を讃えた場面はとても感動しました。

来年開催される東京オリンピック・パラリンピックでも、多くの競技で世界のアスリートが活躍し、感動やスポーツの楽しさを味わえることを楽しみにしています。



第40回 西砂川地区文化祭 七中生徒作品を出品

11月2日（土）から西砂会館で西砂川地区文化祭が開催されました。今年も七中生徒の作品を展示していただき、地域の皆様にご覧いただきました。文化祭には、地域の皆さんの美術や書道などの力作の他、小中学生の作品も展示され、地域文化の振興に役だっています。今回は、美術の作品（オリ・パラポスター、創作絵文字、木彫鍋敷きなど50点）と手芸部の布製の作品を展示しました。



合唱コンクール 結果

	最優秀賞(自由曲)	優秀賞(自由曲)
1年	1組(HEIWAの鐘)	4組(明日へ)
2年	3組(虹)	2組(旅立ちの時)
3年	3組(ひとつの朝) 4組(証)	1組(言葉にすれば)

※3年生で集計に誤りがあり、受賞に変更がありました。ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

10月29日(火)に合唱コンクールが行われました。練習時間は決して多くはありませんでしたが、各学年素晴らしい合唱を披露してくれたと思います。とくに3年生は最高学年らしいハーモニーを響かせ、七中を代表するにふさわしい姿を見せてくれました。また、有志合唱では迫力ある歌声が響き渡り、圧倒されました。さらに、保護者の皆さんにも、お褒めのお言葉をアンケートにてたくさんいただきました。ありがとうございました。

(担当 馬場 美奈恵)

農業体験～1学年～



10月10日(木)、1年生で農業体験が行われました。当日はお天気にも恵まれ、24件の農家で、農作物の収穫や種まき、出荷準備、台風に向けてシートかぶせなど、普段できない貴重な体験をさせていただくことができました。収穫したばかりの野菜をその場で食べさせていただき、その味に「感動した！いままで自分はおいしい野菜を食べていなかったのかも・・・」という生徒もいました。大型の台風が近づく大変な中、ご協力いただいた農家の皆様方、ありがとうございました。(担当 雨宮 夕子)

立川市中学生の主張作文

11月3日(日)、たましんRISURUホールで中学生の主張大会が開催されました。本校から代表として、3年連続で、3年 張替望恵さんが発表しました。部活動での経験を通して、母親への感謝や命の尊さを訴え、見事、議長賞を受賞しました。



●議長賞 3年 張替 望恵さん「命の繋がりを学んだ部活動」

●優秀賞

3年 石川 柊さん 「お母さんの不思議な力」

3年 鈴木 あかねさん 「私の目標」

●西砂川地区 優秀賞

2年 沢口 加奈さん 「挑戦する気持ち」

2年 藤森 瑠香さん 「言葉の力」

2年 郷 福寧さん 「食べることについて」

2年 杉村 風々羽さん 「たばこを吸う必要性」

2年 畑中 花菜さん 「言葉とは」

3年 高麗 光さん 「『好き』を『知る』こと」

3年 武田 成未さん 「違う色、違う文化」

～普通救命講習～

10月31日(木)に、2学年で、立川市民科の一環で立川消防署から講師をお招きして、普通救命講習会を行いました。テキ



ストを使って学習後、ダミーやAEDを使い、全員が心臓マッサージや人工呼吸等の心肺蘇生法の実技を行いました。講習終了後は「救命技能認定証」が全員に授与されました。緊急時には、この講習で学んだことを地域で生かしてください。

【中学生人権作文コンテスト】

- ・優秀賞 2年 藤森瑠香さん「戦争の中の子供達」
- ・入選 2年 小椋羽流さん 川名麻心さん
- ・佳作 2年 尾崎美紅さん 畑中花菜さん

【薬物乱用防止標語】

- ・会長特別賞 2年 杉本夏琉くん
「いりません その一言が 身を守る」
- ・入賞 2年 大森叶瑛さん
「好奇心 人生狂わす その一回」

【立川間税会 税の標語】

- ・入選 1年 三輪芽衣香さん
「日本の未来のために 税の働き 新たな時代へ」

【生徒活動の記録】～七中生、頑張っています！

●卓球部 男子

- ・静岡県近隣中学交流卓球大会男子の部 敢闘賞

●ソフトテニス部 男子

- ・東京都中学校ソフトテニス新人大会団体ベスト16
- ・第10ブロックソフトテニス新人大会 団体 優勝

●ソフトテニス部 女子

- ・東京都中学校ソフトテニス新人大会 団体 第5位
(個人) ベスト16 山本・藤森組
- ・第10ブロックソフトテニス新人大会団体 準優勝
(個人) 優勝 山本・藤森組
第5位 鈴木・久保組

・川崎フレッシュカップ 優勝

●東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会

- 男子2年110MH 第4位 15秒71 高原一希くん

●立川秋季市民大会(男子200M) 優勝 高原一希くん

●立川秋季市民大会(硬式テニス 中学生の部)

- 第1位 三輪芽衣香さん